

支部活動交流

新年度、各支部の活動がスタートしました。

北見支部

今年度、北見支部は新しく勝田先生を迎え全9名の顔ぶれでスタートしました。第1回目の支部会議を4月14日(木)に行い、会議後に山本先生仕込みの美味しい鍋を囲み勝田先生の歓迎会を開催しました。それぞれの職場の様子や子ども達の様子などざっくばらんに語り合い和やかな雰囲気での歓迎会となりました。



常日頃から子ども達のより良い成長を目指した教育への取り組みの姿勢や風通しの良い職場環境づくりなど、学校現場での協力協同を心掛けている組合であることが網走教組の魅力であると思います。

また、「まなびバ」や「夏冬の合宿研」では、組合員相互の交流を図ることで、自己の実践活動をより深く見つめさらに広く、形として現れる内容となっています。

今年度も北見支部では、組合員との連携を大切にしながら組織拡大、組織強化へ繋がる取り組みを目指していきたいと思います。

(文責 佐野)

紋別支部

遠軽・紋別支部では、3月26日(土)、支部大会が行われました。ここ何年か、支部大会は昼食を取りながら行うことが多く、今回もお好み焼きを食べながら、和気藹々で行いました。支部書記長の勝田先生が、引越しの準備でお忙しい中、支部大会の議案を作ってください、その議案に基づいて、支部の活動を振り返りました。

遠・紋支部では、月1回の支部会議において、組合費を集めつつ、組合員間の近況や日頃感じていることを交流するというを大切に活動してきました。先生方や子どもたちの様子、仕事上の悩み、情勢についてなど、話題はいつも豊富で、その中から学び合うことができたのは支部としての大きな成果です。また、街頭署名活動にも重点的に取り組み、「みんなで活動する」ことを大切にしてきた成果も、大会で再確認しました。

長い間、遠軽・紋別支部を支えてくださった、本間先生、阿部先生が、3月をもって退職、さらに、いつも原則的に活動を進めてくださった勝田先生が北見に異動されるということで、大会の最後に、支部から感謝の気持ちを込めてお花を贈りました。新年度は、女性4名の支部になるので、不安もありますが、これまで大切にしてきた「原則的に活動すること」をモットーに、みんなで力を合わせてがんばっていきたいと思います。

(文責 若狭)

網走教組 こんな魅力的な組合です

網走教職員組合の魅力って何だろう...今回この記事を書くということ、改めて考えてみました。うちの組合は人数も少ないし、飲みに行ったり遊んだりするわけでもないし...正直単純に楽しいことはそんなにありません(笑)。単純な仲間作りとか、楽しい活動があるとか、そういうことが魅力ではないんだろうかと自分は感じています。じゃあ何で自分は入っているんだろう?それは、教職員組合に入ると世の中の情勢がとらえやすくなるので、「教育」というものを広い視野で、高い視点で本質的に学ぶことができる。」ということがひとつあるかなと思います。そして、執行委員会、支部代、支部会議、まなびバ、合宿研、定期大会、中央委員会、そして毎日の実践...すべての活動が「教育」という大きな川の「ほんりゅう」につながっていて、網走教組ではそういう運

動がたくさんあるなということです。僕が網走教組に加入して5年...この間に上からの管理・統制が年々強まってきたと感じています。そんな中、網走教組では「自らの学びを深め、教職員としての力量を上げることで子どもたちにより教育をしていこう!」という活動こそが上からの無茶ぶりやプレッシャーを受け流し、競争原理や管理・統制、ゼロトレランスを乗り越え、子どもたちの未来をつくり、子どもたちが主役の学校・みんなが暮らしやすい地域・社会をつくっていくことにつながるはずだ!」という考えで運動を進めてきています。「学力」向上の波に対しては、単純に「反対だ!」と言うのではなく、じゃあ、私たちが考える学力とはなにか?ということとを合宿研や大会で議論してきました。その議論を通して、「確かな学力とは、与えられるものではなく、自ら学びとるものあり、意欲や追求する力であること。」「自ら学ぼう」という意識が生まれ、生き生きと学び出したとき、学んでいることや

学んだことが、確かな学力として身につけていくこと。」と基本的なイメージを一致させることができました。そして、「一定の答えを出したからこれで終わり。」というわけではなく、毎日の実践で「生活に結びついた学習」「賢く生きていくための学習」「みんなが学んでいくことが良いと感じられる学習」をしていきながら、今も学力とは何かと問い続けています。問に迫った道徳の教科化に関しては、その問題点を一つ一つ「だめだよねえ。」と言うだけではなく、道徳教育で大切にしたいことは何か?私たちがどんな授業や取組をしていけばよいか?と議論し合い、一人一人がこれから実践を積み重ね、みんなが交流していくことを確かめました。教育とは何か?学校とは何か?という視点をいつも持ち続け、それを実践していく気概をもった集団...それが網走教組の魅力であると思います。皆さんはどう思いますか?ぜひ感想をお寄せください!

(文責 山本)



第432号
網走教職員組合
〒090-0052
北海道北見市北進町4丁目5-31
TEL0157(31)7551
FAX 0157(31)7559
ab-ky@forest.ocn.ne.jp
4月26日

